

問1 ノルウェーなどのヨーロッパ北部は、北緯60度を超える高緯度に位置しながらも、同緯度の他地域に比べて冬の気温が下がりにくく、海が凍らないという特徴があります。この気候を形作る要因として最も適切な組み合わせはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 千島海流という寒流の影響と、夏に吹く季節風の影響
2. 黒潮という暖流の影響と、赤道付近から吹く貿易風の影響
3. リマン海流という寒流の影響と、冬に吹く季節風の影響
4. 北大西洋海流という暖流の影響と、一年中吹く偏西風の影響

問2 慈照寺（銀閣）の建築に見られる文化的な特徴やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)

1. 唐招提寺金堂のように中国の唐の様式を強く反映し、重厚な屋根と太い柱を特徴としている。
2. 禅宗の影響を受けた簡素で気品のある東山文化を代表し、書院造という和室の原点となる構造を持っている。
3. 寝殿造の伝統を受け継ぎ、池を中心とした広大な庭園と対面のための広い板の間を特徴としている。
4. 豊臣秀吉の時代を反映した豪華絢爛な装飾を特徴とし、金箔を多用した障壁画が多用されている。

問3 新潟県において、大規模な稲作が行われている地域の地形的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。河川と平野の関係に注目して選びなさい。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. 広大な台地を多くの河川が浸食し、段丘面を利用した大規模な林業や果樹栽培が行われている
2. 火山が連なる半島状の地形で、火山灰を含んだ水はけの良い土地が広がっている
3. 山脈や山地の間の盆地を大河川が貫流し、その下流に広大な平野が形成されている
4. 険しい山地が海岸近くまで迫り、河川の運ぶ土砂によって小規模な扇状地が点在している

問4 明治政府が群馬県に富岡製糸場を設立し、フランスの技術を導入して「官営模範工場」として運営した主な理由として、当時の背景をふまえて最も適切に説明しているものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)

1. イギリス主導の綿織物市場に対抗するため、伝統的な手作業による製法を保護し、高級な絹織物を欧州へ輸出するため。
2. 最新の機械や技術を民間に普及させることで、輸出の主力であった生糸の品質と生産量を高め、外貨を獲得するため。
3. 日清戦争後の軍拡に備えるため、製糸技術を応用して軍服やパラシュートなどの軍需品を大量生産する体制を整えるため。
4. フランスからの借款を返済するために、政府が直接管理する工場で金鉱石の採掘と精錬を効率化する必要があったため。

問5 1855年に開通し、大西洋と太平洋の二つの大洋をつなぐ物流の要として機能した北アメリカの鉄道について、20世紀初頭にその貿易上の役割が大きく低下した理由と、現在の主な活用方法として適切な説明はどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)

1. オーストラリア連邦鉄道の成功により、羊毛輸送の拠点が南半球に移ったため、現在は軍事的な補給路として活用されている。
2. スエズ運河の開通によって欧州からの航路が短縮されたため、現在は主に近隣諸国の通勤路線として活用されている。
3. 1914年にパナマ運河が開通し、船舶による直接航行が可能になったため、現在は歴史的価値を生かした観光資源として活用されている。
4. シベリア鉄道の全通により、ユーラシア大陸を経由する輸送が主流となったため、現在は大部分が貨物専用の廃線となっている。

問6 インダス文明の遺跡からは、動物などの図案とともに文字が刻まれた石造りの印章が多数発見されています。この文明で用いられた文字や、その背景について述べた文として正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 粘土板に楔形文字が刻まれ、周辺地域との交易の記録として使われた
2. 独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない
3. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、占いを通じて政治の判断に用いられた
4. パピルスにヒエログリフで記され、王の事績や神話が記録されていた

問7 近畿地方の東側に位置する三重県の自然環境について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2025年 東京都公立入試 類似)

1. 北部の大部分は広大な平野であり、冬には季節風の影響で日本海側から湿った空気が流れ込み大雪となる。
2. 北西部には鈴鹿山脈などの山脈が連なり、中央部の志摩半島付近には複雑な海岸線が見られる。
3. 瀬戸内海の気候に属しているため、年間を通じて降水量が少なく、ため池が各地に点在している。
4. 県内全域にわたってカルデラと呼ばれる火山活動による窪地が点在し、世界最大級の規模を誇る。

問8 関東地方の房総半島からその周辺にかけて広がる地域は、北部に国立公園に指定されたリアス海岸があり、南部には大規模な埋立地が造成されています。この地域における、高度経済成長期以降の工業の発展の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

1. 穏やかな海面と広大な塩田跡地を利用して、石油化学コンビナートや自動車工場が集中する、瀬戸内海沿岸の工業地域を形成した。
2. 国際貿易港に隣接する岬などの地形を活かして造船所が作られ、埋立地には輸入原料を利用する大規模な製鉄所が建設された。
3. 広大な平野と冷涼な気候を活かして、大規模な畑作や酪農と結びついた食料品工業が、広域的な交通網に沿って発展した。
4. 豊かな森林資源と水資源を活かして、明治時代から製紙・パルプ工業が発達し、現在も沿岸部を中心に国内有数の出荷額を誇っている。

問9 ケニアにおいて、茶の栽培が盛んな地理的要因と、独自の食文化が形成された歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. 全域が平坦な砂漠気候であり、オアシスでの綿花栽培と、イスラム文化圏から伝わった麺料理が普及したこと。
2. 標高の高い火山付近の気候や土壌が茶の生産に適していることや、旧宗主国であるイギリスの文化が浸透したこと。
3. 標高5000mを超える山々からの豊富な雪解け水を利用した水田稲作が発達し、アジア諸国との交易が盛んになったこと。
4. 西部が海に面しており、大規模な港湾施設を通じて輸入された小麦が、安価な主食として定着したこと。

問10 豊臣秀吉が全国統一を進める中で実施した太閤検地では、測量の基準だけでなく、収穫量を測るための道具についても統一が図られました。このとき、全国共通の基準として採用された「枧（ます）」の名称と、検地によって決定された収穫量の単位の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

1. 江戸枧を用い、土地の面積に応じて「地価」を定めた。
2. 京枧を用い、家族の人数に応じて「口分田」を定めた。
3. 宣教師から伝わった計量器を用い、海外貿易の利益に応じて「運上金」を定めた。
4. 京枧を用い、土地の質に応じて「石高」を定めた。

問11 2万5千分の1地形図「本牧」において、ある地点から風景写真を撮影しました。地図上でその地点の東側に海岸線があり、西側に等高線の密度が高い急な斜面が描かれているとします。このとき、撮影した写真の正面に海が大きく写っていた場合、カメラを向けていた方位として最も適切なものを選択してください。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 東
2. 南
3. 北
4. 西

答え合わせ・解説

問1	答え 4 北大西洋海流という暖流の影響と、一年中吹く偏西風の影響	高緯度のヨーロッパ西岸では、低緯度から温かい水を運んでくる暖流（北大西洋海流）の上を、偏西風という西寄りの風が通過します。この偏西風が暖流によって温められた湿った空気を大陸へと運ぶため、冬でも海が凍らず、比較的温暖な西岸海洋性気候が形成されます。
問2	答え 2 禅宗の影響を受けた簡素で気品のある東山文化を代表し、書院造という和室の原点となる構造を持っている。	慈照寺銀閣に代表される東山文化は、足利義政の時代に栄えた文化です。金閣に代表される北山文化の華やかさに比べ、禅宗の精神に基づいた「わび・さび」と呼ばれる簡素で深みのある美意識が重んじられました。東求堂同仁斎に見られる書院造の構造は、その後の日本人の住生活に大きな影響を与えました。
問3	答え 3 山脈や山地の間の盆地を大河川が貫流し、その下流に広大な平野が形成されている	新潟県では、信濃川や阿賀野川といった日本屈指の大河川が、山脈の間に位置する盆地を通じて日本海へと流れています。これらの河川が運んだ土砂が下流に堆積することで、越後平野のような広大な平野が形成されました。豊富な水資源と肥沃な平野部が組み合わさったこの地形は、日本最大級の稲作地帯を支える重要な基盤となっています。
問4	答え 2 最新の機械や技術を民間に普及させることで、輸出の主力であった生糸の品質と生産量を高め、外貨を獲得するため。	明治初期の日本にとって、生糸は最大の輸出アイテムであり、近代化を進めるための資金（外貨）を得るための重要な資源でした。しかし、当時の日本の生糸は品質にばらつきがあったため、政府はフランスから最新の技術を導入した模範工場を設立し、全国の製糸業者がこれを見習って近代化できるよう促しました。この仕組みが「官営模範工場」と呼ばれる理由です。伝統的な製法を守るためではなく、西洋の機械による大量生産と品質の均一化が目的でした。
問5	答え 3 1914年にパナマ運河が開通し、船舶による直接航行が可能になったため、現在は歴史的価値を生かした観光資源として活用されている。	北アメリカの大陸横断鉄道（またはそれに類する大洋をつなぐ鉄道）は、当初、大西洋と太平洋を陸路で結ぶ唯一の効率的な輸送手段として、19世紀半ばの貿易において極めて重要な役割を果たしました。しかし、1914年にパナマ運河が完成したことで、船舶が大陸を横断せずに二つの海を行き来できるようになったため、物流の主役を運河に譲ることとなりました。現在では、その歴史的な背景や壮大な景観を楽しむための観光資源として再評価され、利用されています。
問6	答え 2 独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない	インダス文明の印章に刻まれた「インダス文字」は、象形文字の一種と考えられていますが、ロゼッタ・ストーンのような解読の鍵となる資料が見つかっていないため、現在もその内容は解読されていません。選択肢にある楔形文字はメソポタミア文明、ヒエログリフはエジプト文明、甲骨文字は中国文明（殷）において使用されたものです。
問7	答え 2 北西部には鈴鹿山脈などの山脈が連なり、中央部の志摩半島付近には複雑な海岸線が見られる。	三重県の地形的特徴として、北西部には岐阜県や滋賀県との県境をなす鈴鹿山脈がそびえています。また、中央部から南部にかけては、志摩半島に代表されるリアス海岸が発達しており、山地と海が隣接する変化に富んだ地形を構成しています。
問8	答え 2 国際貿易港に隣接する岬などの地形を活かして造船所が作られ、埋立地には輸入原料を利用する大規模な製鉄所が建設された。	千葉県周辺の沿岸部は、北部のリアス海岸と南部の埋立地という対照的な地形を併せ持っています。高度経済成長期には、大型船が接岸しやすい埋立地や、水深の深い港湾付近の岬に、原料を海外から輸入する製鉄所やその運搬を担う船舶を製造する造船所が次々と建設され、京葉工業地域などの重厚長大産業の拠点となりました。
問9	答え 2 標高の高い火山付近の気候や土壌が茶の生産に適していることや、旧宗主国であるイギリスの文化が浸透したこと。	ケニア山（標高5000m超）など火山活動に由来する地形を持つケニアでは、排水の良い高地の土壌が茶の栽培に適しています。歴史的には、イギリスによる植民地支配を通じて大規模な茶園（プランテーション）が作られ、同時にミルクを入れて紅茶を飲む習慣が現地に定着しました。
問10	答え 4 京枅を用い、土地の質に応じて「石高」を定めた。	太閤検地では、地域ごとに異なっていた計量基準を統一するため、当時京都で流通していた「京枅」が全国共通の枅として採用されました。さらに、田畑の面積に土地の質（上・中・下など）に基づいた一定の数値を掛けることで、その土地から見込まれる収穫量を「石高」として算出しました。この石高が、その後の大名の領地規模や軍役の基準となりました。
問11	答え 1 東	地形図では原則として上が北、右が東、左が西、下が南として描かれます。地図上で「東側に海がある」状況において、写真の正面に海が写っているということは、撮影者が海のある方向、すなわち東を向いて撮影したことを示しています。このように、地形図上の地物（海、山、建物）と写真の被写体を照合することで、方位を特定することが可能です。